



ナチス政権下、ホロコースト時代をどうやって生き延びたのか。

70年以上の歳月を経て明かされる、生存ユダヤ人と日本人たちの記憶と証言。彼らの生死を分けた一瞬の偶然。ヒトラー政権の同盟国であった日本人が彼らを手助けした事実。市民がなぜこのような非道に同調することができたのかという人間性への問いについて……。



ベルリンに28年暮らし、数年にわたって丹念に取材を続けた著者が、悲劇の時代のありのままの人間の姿をつづる。

〈歴史家の視点〉ではないホロコーストを描く

いのちの証言

ナチス時代の日本人とユダヤ人

四六判/216ページ
予価・本体1800円+税
978-4-7949-6952-1 C0036
装丁 岩瀬聡

六草いちか

作家。1962年、大阪府吹田市生まれ。88年からドイツ・ベルリン在住。主な著作に、森鷗外の名作『舞姫』のヒロイン、エリスのモデルとなった女性を探し、文学界の積年の謎を解明した『鷗外の恋 舞姫 エリスの真実』『それからのエリス——いま明らかになる鷗外『舞姫』の面影』（ともに講談社）がある。



新たな事実が満載の渾身歴史ノンフィクション。

FAX03-3518-4944 配本申込み切 12月26日

晶文社新刊委託注文書	取次・貴店印	いのちの証言 ナチス時代の日本人とユダヤ人 六草いちか 著 【歴史・ノンフィクション】四六判並製・216ページ 予価：本体1800円+税 ISBN978-4-7949-6952-1 C0036 1月31日配本予定	申込部数
	ご担当 様		冊